

Press Release



2023年8月8日
トランスコスモス株式会社

トランスコスモス、「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」構成銘柄に初選定

人権、腐敗防止、地域社会への貢献、コーポレートガバナンスの拡充など、さまざまな社会課題への取り組みが評価

トランスコスモス株式会社(代表取締役共同社長: 牟田正明、神谷健志)は、ESG への対応に優れた日本企業の株式のパフォーマンスを示すインデックスである「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」の構成銘柄に初めて選定されました。

<FTSE Blossom Japan Sector Relative Index について>

「FTSE Blossom Japan Index」シリーズは、ロンドン証券取引所グループ傘下の FTSE Russell 社が開発した世界的な ESG 投資指数です。「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」は、各セクターにおいて相対的に、環境、社会、ガバナンス(ESG)の対応に優れた日本企業のパフォーマンスを反映するインデックスです。

なお、世界最大規模の公的年金基金である年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)もパッシブ運用の ESG 投資指数として同指数を採用しており、世界中の投資家から重要な投資判断基準として活用されています。

※「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」については下記 URL をご覧ください。

<https://www.ftserussell.com/ja/products/indices/blossom-japan>

<トランスコスモスのサステナビリティへの取り組み> <https://www.trans-cosmos.co.jp/company/sustainability/sdgs.html>

トランスコスモスは、2021年に代表取締役会長を委員長とするトランスコスモス SDGs 委員会を設置し、ESG(環境、社会、ガバナンス)を中心とした社会の課題や期待に対する取り組みを推進していく体制を構築しています。また、トランスコスモスでは持続可能な社会の実現と、社会全体の Well-being の最大化を目的とした、サステナビリティ基本方針を策定しています。

サステナビリティ基本方針では、ロードマップに従って SDGs を推進し、TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)の提言への賛同と開示のほか、人権、腐敗防止、地域社会への貢献、コーポレートガバナンスの拡充など、さまざまな社会課題の解決に取り組み、みなさまの SX パートナーとなるべく活動をしています。このような取り組みが評価され、選定に至ったと考えます。

今後もトランスコスモスは強みである事業活動を通じて社会課題の解決を推し進めるとともに、持続可能な社会の実現を目指し、Well-being の最大化に取り組んでいきます。

※トランスコスモスは、トランスコスモス株式会社の日本及びその他の国における登録商標または商標です

※その他、記載されている会社名、製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です

(トランスコスモス株式会社について)

トランスコスモスは 1966 年の創業以来、優れた「人」と最新の「技術力」を融合し、より価値の高いサービスを提供することで、お客様企業の競争力強化に努めて参りました。現在では、お客様企業のビジネスプロセスをコスト最適化と売上拡大の両面から支援するサービスを、アジアを中心に世界 28 の国と地域・171 の拠点で、オペレーショナル・エクセレンスを追求し、提供しています。また、世界規模での EC 市場の拡大にあわせ、お客様企業の優良な商品・サービスを世界 46 の国と地域の消費者にお届けするグローバル EC ワンストップサービスを提供しています。トランスコスモスは事業環境の変化に対応し、デジタル技術の活用でお客様企業の変革を支援する「Global Digital Transformation Partner」を目指しています。(URL: <https://www.trans-cosmos.co.jp>)